

地域情報

県版GAPを取得し、9月からミニトマトの出荷始まる

(一社) 熊本県野菜振興協会熊本市支部

天明ミニトマト生産管理組合は、平成30年5月に熊本市で初めて県版GAPを取得しました。当組合は、隔離ベッドによる次世代型のオランダタイプの園芸ハウスを導入した生産農家5戸で構成されています。ハウス内は、床全体を白色の防草シートで覆い、整理整頓され衛生管理に配慮した働きやすい農場です（写真参照）。従業員のライフスタイルにあった時間帯での栽培管理作業や、食の安全、環境保全、労働安全、さらに人権にも配慮した労務管理体制を実施しています。

この組合では、平成27年度生産総合事業（強い農業づくり交付金）を活用し、低コスト耐候性ハウス（軒高4.7m）を新設しました。自動開閉装置、循環扇、防虫ネット（0.4mm）、加温施設、CO₂発生装置、細霧冷房、養液栽培装置、複合環境制御装置を完備した次世代型の施設園芸ハウスで、目標収量20t/10aを目指しています。品種は「CF小鈴」で、本年は、8月10日に定植、出荷は9月25日から始まり翌年7月上旬まで行います。

本年も、品質管理の徹底を行い、安全・安心なミニトマトを全国の食卓にお届けいたします。

